

勇壮な追い山

町の無形民俗文化財、上須恵祇園山笠の追い山が、7月20日(日)に行われました。

この祇園山笠は、上須恵山笠保存会(中原尚樹会長)が、毎年7月24日に一番近い日曜日に実施しているものです。水法被姿の同区の男衆たち約150人が、重さ1トンを超える飾り山を担いで須賀神社をスタートして、区内の幹線道路を回ります。

男衆たちは、沿道の人たちから勢い水をかけられながら「オッショイ、オッショイ」と掛け声を掛け合いながら勇壮に駆け抜けました。



勇壮に区内を駆け抜ける追い山

ライオンズクラブが  
恵比須流を展示

博多の街に夏の到来をつげる、博多祇園山笠の追い山が終わった7月15日(火)の早朝、6番山笠恵比須流の昇き山が、アザレアホール須恵に現れました。

これは、かすや南ライオンズクラブ(若杉良富会長)の肝いりで、同ホールに展示されたものです。同クラブでは、毎年粕屋南部3町(須恵町、志免町、宇美町)に交代で展示を行なっています。

恵比須流の、今年の昇き山の標題は「彩鳳舞丹青」。これは、天下泰平の時代に現れるという五色の羽を輝かせる彩鳳が、澄みきった大空を舞う様子で美しくめでたいことを指すものです。

この昇き山は、来年6月まで展示されます。同ホールにお越しの際は、迫力あるこの山をどうぞご覧ください。



アザレアホール須恵に展示された恵比須流

須恵東中太鼓部  
3年連続東京国際へ!

須恵東中学校(荒木照信校長)太鼓部が、8月16日(土)と17日(日)に東京の青山劇場などで行われた、第7回東京国際和太鼓コンテストに出場しました。同部の、このコンテストへの出場は3年連続となるものです。

同コンテストには、全国各地から30チームを超える応募の中から、11チームが審査で選ばれ出場するものです。

この出場報告のため、同部員たちが7月29日(火)に役場を訪れました。あいさつを行なった稲永美咲さんは、「今年も東京大会に行かせてもらうことになりました。たくさんの方から応援していただいているので、その期待に応えるように頑張ります。」と話されました。



3年連続の出場を果たした  
東中太鼓部

水の週間 街頭啓発を実施

毎年8月1日の「水の日」から同月7日までは「水の週間」です。これは、福岡都市圏の生活や産業を支える重要な水資源の、計画的な開発や合理的な水利用、水がもつ多面的な機能の有効活用を推進することを目的に行われているものです。

この水の週間に伴い、期間初日の8月1日(金)に、須恵中央駅ほか町内2か所で街頭啓発を行いました。

この日は、早朝7時から町職員がJR各駅で通勤・通学者を対象に、夕方からは町内スーパー前で買物客を対象に、チラシなどを配って節水を呼びかけました。



街頭啓発を行う中嶋町長(昨年)

「アイエス 愛S」  
62人の仲間が始動

須恵町国際交流協会設立総会が、7月12日(土)にボランティアセンターで行われました。

同会では、約1年間にわたる設立準備会を経てこの日を迎えました。総会には、77人の参加者があり、そのうち62人の入会届がありました。また、同協会の愛称を、協会名を英語で表記したときの頭文字をとって「アイエス 愛S」とすることも決定しました。

同協会代表の、今泉靖親さんは「今後は、月1回程度の役員会を開いて、語学交流、文化交流、現地交流の各部会を11月には開設できるように準備を進めます。会



あいさつをする設立準備会の今泉代表

員の要望や意見などを基に、指導者や参加者などの状況を踏まえ、できるものから順に開設する予定です。また、協会ではこれからも随時入会を受け付けますので、お気軽にお電話(☎080-3883-5854 今泉)ください。」と話されていました。

今後の活動内容

- 語学交流 英会話入門、中国語会話入門、韓国語会話入門、日本語講座など
- 文化交流 伝統文化・芸術の紹介、料理教室などの体験、手紙やメール交換など
- 現地交流 現地の芸術・文化や生活の直接体験、海外研修旅行、現地交流者支援など



モンゴル楽器馬頭琴と二胡の演奏も披露